

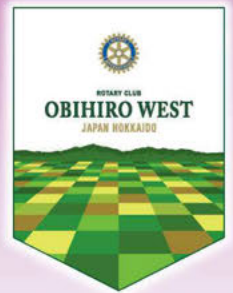


帯広西ロータリークラブ

第2407回例会

2022.10.27

会報



■RI第2500地区スローガン■

ともに紡ごう！
ロータリーの未来へ

■クラブ・テーマ■

新たな半世紀に向かって…RESTART

会長報告

奥 敏則 会長

皆さんこんにちは。会長報告をいたします。50周年の式典などがほぼ終わり、少しは気分的に楽になったような気がしておりますが、安堵している間にも、ロータリーのいろいろな研修を受けるようにメールが届いております。忙しさにかまけて受けることを躊躇してまいりましたが、これからはいろいろと挑戦し勉強しようと思っております。それ以上に、次年度の研修も始まってきているようです。天野エレクトも頑張ってください。



さて今日は、私の知り合いとダルクのお話をしたいと思います。一応本人に、こういった場でのお話をしてよいかどうかの確認させてもらいましたが、喜んで了承していただきました。皆さんは、「ダルク」という言葉を聞いたことがあると思いますが、有名芸能人やスポーツ選手が覚せい剤などで逮捕されるとよく出てくる薬物依存者の回復のための施設のことです。彼はその更生施設の1つの事業所でありNPO法人とかちダルクの理事長をされている方です。彼は、かつてヒロポンなどの覚せい剤の常習者で、刑務所に服役すること5回、前科は二桁。そんな彼が、保護司になったというのです。保護司とは、犯罪や非行をしてしまった人の更生や社会復帰をサポートする資格で、保護司の選考会で法務大臣から認められた者だけがなれる非常勤の国家公務員です。昔の彼のことを考えると全く真逆の役職なのです。私も、彼のような人がそういった役職に就けるものだと知りませんでした。どうも、最後の服役を終えてから刑法では10年を過ぎると「刑の消滅」というものがあるらしく、前科が消えるわけではありませんが、資格取得の制限がなくなるようで、なれるのだそうです。きっかけは、彼が指導を受けていた保護観察官の「もう刑が終わってからだいぶ経つのでしょうか。保護司になったらどうですか？」の一言だったそうです。そんなことを考えたこともなかったし、最初は、冗談で言っているのだとばかり思っていたら、どうもそうではないらしいとのこと。どんなことをするのかはいろいろとお世話になっていたもので、分かってはいるものの、どの程度の案件や頻度に関わらなければならないのか、分からないことだらけのようでしたが、申し込みをして晴れて今年の4月に委嘱されたそうです。彼は以前から、刑務所や学校、各地で講演会などをして薬物などの恐ろしさを訴えてきました。覚えている方もいらっしゃると思いますが、10年ほど前に西ロータリークラブでもお話をいただいたことがありました。かつては、薬物依存症は「薬物中毒」と言われておりましたが、似て非なるものです。中毒は解毒をすれば治療が終わりますが、依存症はそうはいきませ

ん。依存症は、自分の行動や意思が薬物によって脳がコントロールされている状態で、「完治することはないが、回復することはできる病気」、いわゆる高血圧や糖尿病のような慢性疾患の病気と同じなのです。また、ダルクのような回復施設に入る依存症の方は、かつての仲間との関係も断ち切ることも必要で、何も知らない遠くの場所で着の身着のままの状態でお世話になることが多く、公的資金の援助はありますが、お金はもちろん日用品・食料品などが常に不足しているとのこと。彼の保護司という立場は、当事者としての経験を生かすことができるので、良き相談相手として受ける方へ寄り添い、大いに活躍してもらいたいと思っています。

以上、会長報告といたします。ありがとうございました。

会務報告

森 房明 幹事

- ①帯広東RC、移動例会開催のご案内
日時 10月25日(火)午後0時30分
場所 とかち館
- ②帯広RC、夜間例会開催のご案内
日時 10月26日(水)午後6時30分
場所 ホテル日航ノースランド帯広
- ③帯広南RC、10月31日(月)の例会は、休会と致します。
帯広西RC、11月3日(木)の例会は、祝日のため休会と致します。
帯広東RC、11月22日(火)の例会は、休会と致します。
帯広RC、11月23日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。
- ④帯広南RC、夜間例会開催のご案内
日時 11月21日(月)午後6時30分
場所 北海道ホテル
- ⑤帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日時 11月24日(木)午後6時30分
場所 北海道ホテル



RI第2500地区 出席優秀会員表彰

35年表彰



笹井 祐三 会員

RI第2500地区 米山功労者表彰

第2回マルチプル

柳沢 一元 会員



会長 奥 敏則 副会長 高田 晃一 会場監督理事 長平 圭太 発行：広報委員会 (副)板倉 利幸
幹事 森 房明 副会長 河西 智子 プログラム委員理事 菊池 俊博 委員長 河合 敏 (副)所 輝泉



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル東館3階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

ニコニコ献金

小谷 典之 直前会長

一昨日の麻雀大会で優勝しました。いつも3卓なので更なる出席をお願いします。

立崎 貴之 副幹事

先週の金曜、土曜、日曜日に釧路で開催された、オールドタイマーアイスホッケー全道大会で優勝しました。

伊東 肇 ローターリー情報委員長

本日、担当例会です。宜しくお願い致します。

堂山 啓太 親睦活動委員



笹井 祐三 会員

地区より35年の出席優秀表彰を頂きました。有難うございました。

堂山 啓太 親睦活動委員

本日、ニコニコの発表をお願いされましたので、喜んで発表させて頂きました。

ニコニコ
献金

10月27日

10,000円

累計

303,000円 (10月27日現在)

◇プログラム

伊東 肇 ローターリー情報委員長



「我々の道標を改めて考えてみよう」

皆さん、こんにちは。本日はロータリー情報委員会の例会です。宜しくお願い致します。本日の例会は同じ委員会の越智会員にも参加を頂き、対話形式で進行させて頂きます。タイトルは「我々の道標を改めて考えてみよう」とさせて頂き、当クラブ、30周年の記念事業で越智記念事業部会長が策定された「たいまつ宣言」について、何故、宣言文になったのかなどの経緯と思いをお聞き出来ればと考えております。

※以降、対話形式で掲載させて頂きます。

◆伊東委員長

越智会員は、当クラブ30周年実行委員会で事業部会長を務められたとお聞きしましたが、何故このようなものを作ることになったのか、お聞かせ下さい。

◆越智会員

20年ぶりに当時のことを思い返しながら、お話をさせて頂きます。まず、きっかけですが、2001年-2002年度小室会長、郷幹事のもとに行われたわけですが、執行部と部会の第1回目の会議にて、30周年の記念事業は対内的にすることになりました。その後の十数人での実行委員会の席上、10年前の20周年での事業を確認した結果、あまり記憶に残っていなかった為、10年後の40周年に於いても誰もが記憶に残る様な事業にすることに決まりました。



◆伊東委員長

有難うございます。では、40周年に向けては、皆の記憶に残るような事業にしようと言うことで宜しいでしょうか。

◆越智会員

そうです、物ではなくて記憶に残るものと言うことです。

◆伊東委員長

記憶に残るものと言うことは分かりましたが、記憶に残るものと言うと他にも、歌であったり、シンボルマークであったり、と色々な選択肢のある中で、何故宣言文だったのでしょうか。

◆越智会員

始めは軽い気持ちでしたが、先輩達がやって来たことに触れてみようと考えました。当時、十数名居た70歳以上のチャーターメンバーも含めた先輩達とお話し(飲み会)をさせて頂いたのがきっかけとなったと思っております。その中で、先輩達が築き上げて来たもの、想いを強く感じ、未来に向かって残して行くべきだと感じ、文章にして残すのが最良と考えました。

◆伊東委員長

では、宣言文として作り上げる上で、かなりのご苦労があったのではないかとと思うのですが、過程を教えてください。

◆越智会員

まず70歳以上のメンバーを一つのグループとして、残りの会員を60歳以上、50歳以上、50歳以下のグループに分け、70歳以上のグループ名をたいまつ部会、以下は第1部会、第2部会、第3部会と命名し、各グループで検討を重ねて頂きました。

◆伊東委員長

では、4つの部会で検討を重ねた結果が『たいまつ宣言』になったと言うことでしょうか、なぜ、70歳以上のグループにたいまつ部会と名付けたのでしょうか。お話しを聞いていると、先輩達の想いを繋ぐと言うことで、

聖火ランナーをイメージしたのですが、日本的に言うなら松明だと思うのですが、名称が決まった経過をお話し下さい。

◆越智会員

当初は、“たいまつ”と言う言葉を使うつもりは全く無かったが、先輩達が、脈々と受け継いで来たものを、我々が更に繋げて行かなければならないと強く感じ、“たいまつ”と言う言葉が自然に浮かんで来ました。ただ、当初は宣言文の名称になるとは考えてもみませんでした。

◆伊東委員長

では、最初はどのような名称を考えていたのですか。

◆越智会員

実行委員会に挙げたのは『帯広西ロータリークラブ2002宣言』です。宣言文の内容は、実行委員会で承認されましたが、名称は決まりませんでした。その後、当時の郷幹事と話す機会があり、「あの名称は固すぎるよ、たいまつ宣言で良いんじゃないの、よっぽどストレートだよ」と言わたのが、『たいまつ宣言』誕生秘話です。

◆伊東委員長

有り難うございます。では、条文の制定経過で大変だったことなどを聞かせて頂けないでしょうか。

◆越智会員

実は、困ったことは一つもありませんでした。1年をかけて、たいまつ部会他、4つの部会から頂いた沢山の意見を仕分けしたところ、自然に5つの条文が出来上がりました。活動報告書の『たいまつ宣言』裏に、各条文の補足がありますので、ご一読願います。

◆伊東委員長

ありがとうございます。本日参加の会員にも良く分かって頂いたと思います。最後の質問です。策定者の越智会員に聞くのは失礼かもしれないが、20年前の宣言文なので、50周年を迎えた当クラブの100年先を見据えたときに、この宣言文を考え直すことも必要ではないかと思いますが、作成者の越智会員の意見をお聞かせ下さい。

◆越智会員

この20年間で世間は様変わりしているのだから、これで良いのか、疑問を持つことが大事だと思います。現状に見合ったものに変えて行って頂きたいと考えます。

◆伊東委員長

ありがとうございます。当委員会では、家庭集也会も企画しておりますので、皆様から意見を頂き、最終担当例会で、協議をさせて頂けたらと考えております。本日は、ありがとうございました。

宣言文

— たいまつ宣言 —

2002年10月27日(日)帯広西ロータリークラブ創立30周年記念行事にて、西ロータリークラブの歴史を振り返るとともに、未来を展望し、会員が未来を担う中で意識するべき事項を話し、次の5項目を宣言した。

1. 我々は 価値のない交流を拒否し、実質的関係を築く。
2. 我々は 物に依存することなく、自らを養育する。
3. 我々は 常に健康をもち、行動する。
4. 我々は 自治の発展のために、自治の専任を義務化する。
5. 我々は 生涯現役であり、活動に貢献していく。

各グループの宣言文
1. 我々、70歳以上のメンバーを一つのグループとして、残りの会員を60歳以上、50歳以上、50歳以下のグループに分け、70歳以上のグループ名をたいまつ部会、以下は第1部会、第2部会、第3部会と命名し、各グループで検討を重ねて頂きました。
2. 我々、60歳以上のメンバーを一つのグループとして、残りの会員を50歳以上、50歳以下のグループに分け、60歳以上のグループ名をたいまつ部会、以下は第1部会、第2部会、第3部会と命名し、各グループで検討を重ねて頂きました。
3. 我々、50歳以上のメンバーを一つのグループとして、残りの会員を40歳以上、40歳以下のグループに分け、50歳以上のグループ名をたいまつ部会、以下は第1部会、第2部会、第3部会と命名し、各グループで検討を重ねて頂きました。
4. 我々、40歳以上のメンバーを一つのグループとして、残りの会員を30歳以上、30歳以下のグループに分け、40歳以上のグループ名をたいまつ部会、以下は第1部会、第2部会、第3部会と命名し、各グループで検討を重ねて頂きました。
5. 我々、30歳以上のメンバーを一つのグループとして、残りの会員を20歳以上、20歳以下のグループに分け、30歳以上のグループ名をたいまつ部会、以下は第1部会、第2部会、第3部会と命名し、各グループで検討を重ねて頂きました。